

День да ночь сутки прочь, а к смерти все ближе

Сугияма Х

同僚児島さんを喪って

杉山秀子

(ロシア語)

突然大切な人を喪い、驚いています。いまだに廊下の向こうから温厚な顔をちらりとのぞかせるような気がします。

何が原因なのかいまだによくわかりません。

一見肉つきも悪くなく、ご健康そうに見えましたが。

やはり喫煙が間接的原因だったのでしょうか？お見受けするところかなりの愛煙家のようにでした。時々体育館脇の野外喫煙所でタバコを吸っていたのを見かけました。それだけストレスが多かったのでしょうかね。

児島さんとはほとんど個人的会話はありませんでした。一度会議と会議の合間に漢詩について語らい、わたしが、早稲田時代に習った漢詩の中では、陶淵明の「采菊東籬下。悠然見南山。・・・」とかいう詩より白樂天の「売炭翁」のほうが印象的だったといたら、こっくりうなずいていられる様子が目にかびます。その後今年の春でしたか、新人の歓迎パーティで児島さんとゆっくり話すことができました。といっても余り深い話ではなく、私が関係している社団法人の国際善隣協会（在新橋、中国と日本との友好を謳った老舗の友好団体）で、一度中国文学の講演をしてくれませんかと尋ねたところ、気持ちよく、是非やらせてくださいと即答してくれました。楽しい文学談義もう二度と児島さんとは出来ないのかと思うと本当につらい。

語学教育のあり方など先頭にたってきっちりまとめ役としてやっていらした。学生部の委員の報告は緻密でわかりやすい報告をいつもしてくださった。

私たちにとってはかけがえのない人でした。

御遺族のお嬢さんへ：

「立派なお父様をもたれたことを誇りに思って生涯気高く、力強く生きていてください。」